



学校教育目標 ○目標を持ち 自ら学ぶ生徒〔知育〕
○心豊かで 思いやりのある生徒〔徳育〕
○心身ともに健康で 忍耐力のある生徒〔体育〕

令和8年7月17日（金）
南風原町立南風原中学校
校長 内山直美

自分の強みに気づき、時・場・礼を意識した充実の夏休みを

新しいクラスでスタートした一学期が本日、締めくくりを迎えました。授業や行事、部活動など、自分の力を存分に発揮できたでしょうか。まずは一学期の歩みを振り返り、目標の達成状況を教室で言葉にして語り合ってみてください。言葉で表現することで、毎日をどのように過ごしたかが分かります。

一学期の学校全体を振り返ってみると、本校では、皆さんが未来の幸せを自らの手でつかむための教育を実践しました。そのために最も大切にしたいのは、自分自身の「強み」に気づくことだと始業式でお話しました。強みとは、勉強やスポーツで目立つことだけではありません。「時間を守る」「挨拶を交わす」「係の仕事を全うする」といった日常の当たり前の行動も、人生を支える立派な強みです。

自分の強みをさらに輝かせるために、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉に深く心にとめてください。これらはあらゆる成長の土台であり、今すぐ自分でできることばかりです。小さなことを丁寧にできる人は、いざという時に大きな力を発揮できます。また、一学期に学んだ「命どう宝」の平和の心は、目の前の仲間を大切に、対話を重ねる日常の中にあります。明日からの長い夏休みは、事件や事故に気をつけ、規則正しい生活を心がけてください。地域のボランティア活動など、自身の強みを伸ばす挑戦にも取り組み、二学期に元気な笑顔で再会しましょう。



【必要な情報を見つけよう】

7月14日（火）の2校時、通級教室にて自立活動の公開授業が行われました。授業者は御厨晶子先生です。「必要な情報を見つけて正しく読む」をテーマに、文章の中から必要な情報を見つけ表現する内容でした。



【2年3組の目標をカタチに】

7月13日（月）の3校時、2年3組にて学級活動の公開授業が行われました。授業者は平藪可那子先生です。平藪先生は現在、教育センターにて研修中です。3組の皆さんは学級目標から学級の良さを価値付けし、行動に繋げていきます。



【心をつなぐ声かけとは…】

7月16日（木）の3校時、3年15組で公開授業が行われました。授業者は目指尚太先生です。「良い関係を作る声かけ、やり取りを考える」をテーマに、コミュニケーションの取り方について立場を変えて考えました。



【みんなで輝く「PBIS」】

平藪先生のセンター研究の一環で、生活委員会で行われた「PBIS」とは、良い行動を価値付けする方法です。望ましい行動やポジティブな姿を価値付けし、「ダメ」と禁止するのではなく、「どう行動すべきか」を具体的に考えることで、安心して主体的に学べる環境を作ります。互いの素敵な行動や小さな成長を賞賛し合う方法です。（玄関フロア掲示物）



【安全な行動を考えよう！】

7月16日（木）の4校時、3年16組で公開授業が行われました。授業者は濱川沙椰先生です。日常生活の中における場面状況を理解し、適切な対応方法や行動の仕方を身につけることをねらいに、安全に楽しく過ごすための行動について考えました。

